

ウォーカブルなまちづくりの推進に向けたパンダ橋における取組について

1 背景・目的

区では、上野地区まちづくりビジョンに掲げる「杜とまちを自由に行き交うことができるひと中心の空間活用」の視点を踏まえ、杜と駅とまちを繋ぐパンダ橋を、ウォーカブルな空間に転換していくことを目指している。

そこで、駅直結のアクセス性の良い立地特性を活かし、施設管理者である JR や地域の方々、関係機関と連携しながら、居心地のよい空間や賑わい・交流の場を創出する取組を重ねることにより、将来像や活用方針の検討の深度化を図り、パンダ橋の活用推進に繋げていく。

2 パンダ橋の活用状況

- 令和7年 5月～ ヘブンアーティストによる活動※1
5・6月 入谷改札(パンダ橋口)付近にテーブル・椅子等の設置を試行※2
10月～ JRによる植栽設置(東京都グリーンビズ事業の一環)※3
10月下旬 上野中央通り商店会・JRとの連携による社会実験※4
令和8年 3月 JRと東京・春・音楽祭実行委員会による演奏イベント※5



※1 ヘブンアーティストの活動の様子



※2 テーブル・椅子等の設置時の様子



※3 植栽設置の様子



※4 社会実験時の様子



※5 演奏イベントの様子

3 関係者との検討状況

令和7年度の上野地区まちづくりビジョン推進会議において、駅を起点としたひとつの中心の空間の視点のもと、デッキ階(パンダ橋)に憩い・賑わいの起点となる歩行者滞留空間を創出する方向性について、関係者と共有した。

また、JRと連携し、パンダ橋の今後の活用イメージについて検討を進めている。



上野駅周辺の歩行者ネットワークのイメージ例※(令和7年度上野地区まちづくりビジョン推進会議資料より抜粋)
※歩行者ネットワークのイメージ例は、今後、ビジョン推進会議での議論や関係者との協議調整により検討を深化化するものであり、決定したものではない。

4 次回の社会実験

これまでの取組を踏まえ、パンダ橋の将来像・活用方針や第三者への貸出ルールの検討の参考とすることを目的として、引き続き、地域の方々等と連携しながら、ペットをテーマとした賑わい・交流の場や心地良い居場所を創出する社会実験を実施する。

○日 時 令和8年5月16日(土) 11時～18時、17日(日) 11時～17時

○実施内容 緑・花の装飾やテーブル・椅子・人工芝等の設置による杜が広がったような居心地の良い空間の創出

物販・飲食・展示ブース、ワークショップによる地域の魅力やペット関連情報の発信

○実施体制 主催：上野中央通り商店会 後援：東日本旅客鉄道株式会社、区

○周知方法 広報たいとう、ホームページ、SNS、ポスター・チラシ等

5 今後の予定

令和8年	5月16日、17日	社会実験実施	※令和8年度第1回
	7月	産業建設委員会報告(実施結果)	
	10月	社会実験実施	※令和8年度第2回